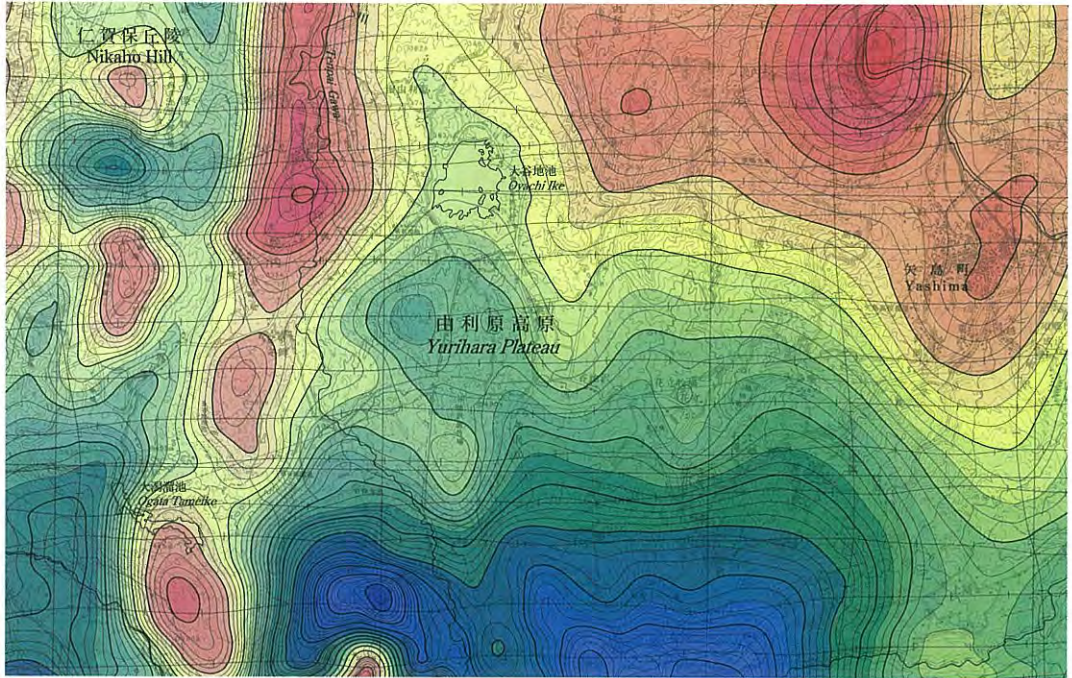
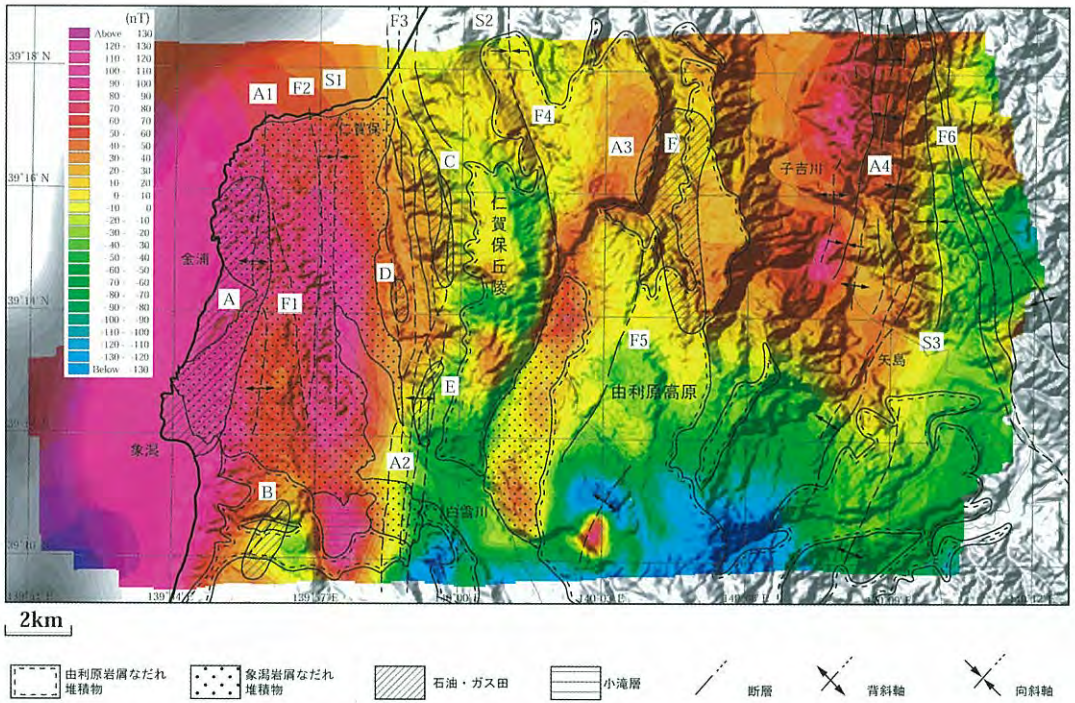


由利原地域高分解能空中磁気異常図・磁気異常と地質分布との関係

＜大熊 茂雄＞



1. 由利原地域高分解能空中磁気異常図 (大熊ほか, 2002) (一部抜粋). 磁気異常(全磁力)分布の大局的な特徴が良く分かるよう、カラーコンターで表示している。背景の地形図により地物との対応も容易である。コンター間隔: 10nT(ナノテスラ)。



2. 磁気異常(地形陰影付き)と地質分布の概要との関係。由利原高原等の象潟岩層なだれ堆積物分布域(網掛け部分)と良く対応して高磁気異常が分布する。地形陰影は北西からの光源照射。地形データは国土地理院の50mメッシュデータを使用。A: 象潟ガス田, B: 小滝油田及び上浜油田, C: 院内油田, D: 西小国ガス田, E: 桂坂油田, F: 由利原油田・ガス田, A1: 象潟背斜群, A2: 仁賀保背斜群, A3: 由利原背斜, A4: 矢島複背斜, S1: 白雪川向斜, S2: 西目向斜, S3: 新莊向斜, F1: 大竹西方の活断層, F2: 小滝逆断層, F3: 仁賀保衝上断層群, F4: 釜ヶ台断層, F5: 大谷地断層, F6: 鳥田目断層群(大熊ほか, 2002)。